

令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ハラレ市におけるエイズ孤児及び脆弱な子どものための教育施設及び井戸整備計画」引渡式

4月6日、令和2年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ハラレ市におけるエイズ孤児及び脆弱な子どもたちのための教育施設及び井戸整備計画」により整備された施設の引渡式が開催されました。

同プロジェクトでは、ハラレ市ムバレ地区で活動しているNGO「チエザ子どもケアセンター」により、エイズ孤児や脆弱な環境に置かれている子どもを対象とした教室棟と太陽光発電式井戸設備等が整備されました。

ハラレ市ムバレ地区は密集した居住地で、住民の大半は定職に就けておらず、賃金の安い路上販売等で生計をたてています。貧困な家庭で暮らす子どもの生活環境は極めて過酷で、経済的に苦慮している家庭の子どもは学校に通えないという事態が常態化しています。

同プロジェクトの新しい教室棟建設と井戸掘削により、脆弱な環境にいる子どもたちがより良い教育の機会を得ることができるようになり、子どもと教師がきれいな水のアクセスを得て、農業にも活用することができます。

同式典において、チエザ子どもケアセンターほか地元関係者から、我が国の支援により子どもたちの教育環境が改善されたことに対して感謝の意が述べられました。また、田中大使からは、長年にわたり多くの子どもたちを支援してきたチエザ子どもケアセンターを称賛するとともに、新しく建設した教室棟や井戸が、子どもたちにとって有益なものとなり、これを通じ、社会的に認められる社会になってほしいと述べました。



完成を祝う田中大使からのスピーチ



開校を祝うテープカット



高校生による詩の披露



小学生によるダンスの披露



建設された教室棟



教室棟内に建設された貴重品室



購入した机と椅子



設置した井戸の水を貯める水タンク